



清水待機児童園 まりん

令和5年度 冬号

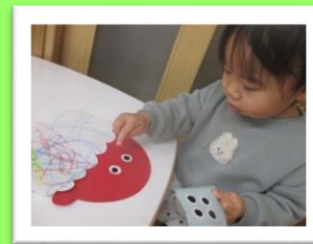
今年の冬は、急に寒くなったり、ぽかぽかと暖かかったり、気温の差が激しかったですね。まりんの子どもたちは、寒さに負けず、病気をすることもなく元気に過ごすことができました。この1年、遊んだり、散歩に行ったり、様々な物や自然、地域の方と関わるなかで心も体も大きく成長しました。

「おしくらまんじゅう」の大型絵本を見る0歳児さん。好きな場面になると前に出てきて、指差しをしていました。伝えたい思いがいっぱいです。保育者に思いを受け止めてもらおうと席に戻り、また前に出てきて…を繰り返していました。おばけがバイバイすると子ども達も「バイバイ」と手を振り絵本を存分に楽しんでいました。その姿がとってもかわいかったです。



手先を上手に使えるようになってきた1歳児さん。シール貼りが得意です。表情豊かなかわい鬼ができました。

「みて～」



ここに、はろう

クレヨンでぐるぐるかいたよ



こおりだ～!

水だと思って触ったみら…



あれ～!? かたい!!

つめたくて つるつる



ふむとぱりぱりおとがする

氷は、硬くて、冷たくて、割れたり、溶けたり、音が出たり…五感を使って不思議さ、おもしろさを味わっていました

鈴、鳴るかな～



「食べてるよ」「いっぱいいるね」

2歳児さんは、たくさん散歩に出かけいろいろな発見や、地域の自然、人との触れ合いを楽しみました。秋葉神社に行くと、神主さんが池の金魚に餌をあげる様子を見せてくださいました。子ども達は楽しそうにじーっと見ていました。